



学校評価調査結果のご報告

校庭では桜の樹々が小さなつぼみをつけ、春の訪れを感じるころとなりました。さて、平成元年度学校経営計画の具体的方策に基づき、生徒と保護者の皆様及び教職員の学校評価調査結果を、ここにご報告いたします。

質問番号

対象	質問項目	評価
----	------	----

評価は、教育調査の平均値で、最高値 5.0、最低値 1.0、到達目標は 4.0 です。3.5 未満を重要課題と考えます。

とてもそう思う	5
どちらかといえばそう思う	4
どちらかといえばそう思わない	2
そう思わない	1

*データの詳細は、HP に公開しております。

学習指導

方策1： 少人数グループ学習等を工夫することで、主体的・対話的で深い学びを目指します。

質問1

生徒	先生たちは、少人数グループ学習を取り入れながら、主体的に学習させてくれる。	4.2
保護者	お子様は、主体的に学習に取り組んでいる。	3.3
教職員	あなたは、少人数グループ学習を取り入れながら、生徒たちに主体的に学習させている。	3.7

改善策1

「チーム学習による学びの主体者の育成」を研究テーマに設定し、「課題解決」を軸とした授業改善を推進します。

方策2： 自己表現力、プレゼンテーション能力の伸長を図ります。

質問2

生徒	先生たちは、根拠を示して説明する等、プレゼンテーションの方法を学ばせてくれる。	3.7
保護者	お子様は、根拠を示して説明する等、プレゼンテーションの方法を身に付けている。	2.8
教職員	あなたは、根拠を示して説明する等、プレゼンテーションの方法を、生徒たちに学ばせている。	3.3

改善策2

主体的・対話的で深い学びの実践を通して、「自分はどう思うのか」、自信をもって自分の意見や考えを表現できる生徒を育成します。

方策3： コミュニケーション能力の伸長を図ります。

質問3

生徒	先生たちは、話し方や聞き方、主張の方法などのコミュニケーションの図り方を学ばせてくれる。	3.8
保護者	お子様は、話し方や聞き方、主張の方法などのコミュニケーションの図り方を身に付けている。	3.3
教職員	あなたは、話し方や聞き方、主張の方法などのコミュニケーションの図り方を、生徒たちに学ばせている。	3.7

改善策3

リレーションづくりにより、仲間の意見を取り入れて、「自分の意見や考え」の質を高めることを楽しめる生徒を育成します。

方策4： 個に応じた指導を行い、確かな学力の定着を目指します。

質問4

生徒	授業では、自分の得意な部分をさらに伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように教えてくれる。	3.5
保護者	学校は、生徒の得意な部分をさらに伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、教えてくれる。	3.1
教職員	あなたは、生徒の得意な部分をさらに伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように教えている。	3.9

改善策4

生徒が得意な面や発達の進んでいる側面をさらに伸ばすことによって、遅れている側面を補うことができるような指導内容を設定します。

方策5： 人に対する思いやりや他者との違いを理解し、認め合いながら生きる生徒を育てます。

質問5

生徒	先生たちは、考えや気持ちの違いを認め合ってみんなで協力できるように促してくれる。	3.8
保護者	お子様は、考えや気持ちの違いを認め合ってみんなで協力できるようにすることができる。	4.1
教職員	あなたは、生徒たちが考えや気持ちの違いを認め合って、みんなで協力できるように促している。	4.3

改善策5

生徒の学習上または生活上の困難を的確に捉え、生徒が現在行っていることや、指導すればできること、環境を整えればできることなどに目を向け、生徒の実態に応じて環境を整える教育を推進します。

方策6：夢や目標をもち、困難を乗り越え、幸福な人生の作り手となっていけるように支援します。

質問6

生徒	先生たちは、目標や将来の夢をもつことの素晴しさや、それに向かって挑戦することの大切さを教えてくれる。	3.6
保護者	お子様は、目標や将来の夢をもつことの素晴しさや、それに向かって挑戦することの大切さを理解している。	3.6
教職員	あなたは、生徒たちに、目標や将来の夢をもつことの素晴しさや、それに向かって挑戦することの大切さを教えている。	3.8

改善策6

「学び」の見通しをもたせ、目の前の課題に対して、主体的に仲間と協働し、解決に向けて前向きな行動ができる生徒を育成します。

生徒一人一人が、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりできるようにするために、生徒たちが自己評価を行うことを、教科等の特質に応じて学習活動の一つとして位置付けます。

生活指導

方策7：規範意識や基本的な生活習慣を確立させます。

質問7

生徒	先生たちは、生活をよりよくするための1日の過ごし方や、生活の仕方の工夫について教えてくれる。	3.6
保護者	お子様は、生活をよりよくするための1日の過ごし方や、生活の仕方の工夫について理解している。	3.2
教職員	あなたは、生徒たちに、生活をよりよくするための1日の過ごし方や、生活の仕方の工夫について教えている。	3.9

改善策7

全ての教育活動を通して、生徒に社会生活の基本的なきまりや規範意識を基に適切に判断し行動しようとする態度を育成します。

方策8：薬物、情報、防犯、防災、交通安全などの正しい知識を身に付けさせます。

質問8

生徒	学校は、薬物乱用防止、防犯、防災、交通安全などの正しい知識を教えてくれる。	4.6
保護者	お子様は、防犯や防災、薬物乱用防止、交通安全などの正しい知識を身に付けている。	4.1
教職員	学校は、生徒たちに、薬物乱用防止、防犯、防災、交通安全などの正しい知識を教えている。	4.5

継続8

「薬物乱用防止教室」や「情報モラル教室」等を実施したり、安全指導や避難訓練を実施したりして、薬物、情報、防犯、防災、交通安全などの正しい知識を身に付けさせます。

方策9：インターネットやSNSの正しい使い方について、正しい知識を身に付けさせます。

質問9

生徒	学校は、インターネットやSNSの正しい使い方について、正しい知識を教えてくれる。	4.3
保護者	お子様は、インターネットやSNSの正しい使い方について、正しい知識を身に付けている。	3.8
教職員	学校は、生徒たちに、インターネットやSNSの正しい使い方について、正しい知識を教えている。	4.1

改善策9

「SNS学校ルール」の徹底、「情報モラル教室」の実施等に取り組み、SNSの利用によるトラブルの未然防止や課題解決を図ります。

方策10：いじめを早期発見するため、生徒に対する定期的ないじめ調査等を毎月実施するとともに、その他必要な措置を講じます。

質問10

生徒	先生たちは、いじめを早期発見・防止するためにアンケートを毎月行い、いじめ解消に努めてくれる。	4.0
保護者	学校は、いじめを早期発見・防止するために、アンケートを毎月行い、いじめ解消に努めている。	3.5
教職員	学校は、いじめを早期発見・防止するために、アンケートを毎月行い、いじめ解消に努めている。	4.5

改善策10

アンケートを毎月実施して、生徒の課題を明確にし、学校いじめ対策推進委員会を中心に、具体的な解決策を講じます。また、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員等と連携して情報を共有し、指導の共通実践を徹底します。

進路指導

方策11：望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の充実を図ります。

質問11

生徒	先生たちは、働くことの意義や尊さを教えてくれる。	3.4
保護者	お子様は、働くことの意義や尊さを理解している。	3.6
教職員	あなたは、生徒たちへ、働くことの意義や尊さを教えている。	4.1

改善策11

地域人材を活用した「職場訪問」や「職場体験」等を通じて社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成します。

キャリア教育における職業、進路等の学習の時間に、地域の人材を積極的に活用し、生徒にとって身近な人々の話しを聞いたり、共に活動したりする学習を設定します。

方策 12：地域の人材を活用しながら、多様な考え方や生き方、社会情勢の変化を理解させます。

質問 12

生徒	学校は、地域の人材を活用しながら、多様な考え方や生き方を伝えようとしている。	3.8
保護者	学校は、地域の人材を活用し、多様な考え方や生き方を生徒へ伝えようとしている。	3.8
教職員	学校は、地域の人材を活用しながら、多様な考え方や生き方を伝えようとしている。	4.1

改善策 12

開かれた学校づくりを目指して、学校・家庭・地域との連携を図ります。

地域の人材を活用し、生徒が多様な考え方や生き方、社会情勢の変化を理解させます。

具体的には、「書道教室」や「和太鼓体験」、「浴衣の着付け教室」、「働く人の話を聞く会」等に地域の方を講師として招き、学ぶ機会をつくります。

方策 13：全校朝礼・学年朝礼・学年集会の講話を工夫し、人生観や生き方について考えを深めさせます。

質問 13

生徒	先生たちは、学年朝礼や学年集会で、人生観や生き方について考えさせてくれる。	3.7
保護者	お子様は、学年朝礼や学年集会の話聞いて、人生観や生き方について考えようとしている。	3.2
教職員	あなたの学年では、学年朝礼や学年集会で、人生観や生き方について考えさせている。	3.4

改善策 13

月に全校朝礼 1 回、学年朝礼を 2 回行い、すべての教員が講話を工夫し、人生観や生き方について考えを深めさせます。

学校運営

方策 14：学校評価として生徒・保護者・学校評議員のアンケート等を実施し、学校運営の改善に生かします。

質問 14

生徒	先生たちは、アンケートの結果を尊重し、学校を良くしていこうと努力している。	3.6
保護者	学校は、アンケートの結果を尊重し、学校を良くしていこうと努力している。	3.6
教職員	あなたは、アンケートの結果を尊重し、学校を良くしていこうと努力している。	4.3

改善策 14

学校経営計画に基づく自主的、自律的な学校経営を基盤とし、組織的・計画的な教育活動を展開します。

学校関係者評価を適正に実施し、成果や課題、改善策を家庭および地域と共有し、信頼される学校づくりを推進していきます。

方策 15：地域行事に積極的に参加し、「地域の学校の一員」としての役割を果たします。

質問 15

生徒	生徒たちは、地域行事に積極的に参加し、「地域の学校の一員」としての役割を果たしている。	4.1
保護者	お子様は、地域行事に積極的に参加し、「地域の学校の一員」としての役割を果たしている。	3.4
教職員	あなたは、地域行事に積極的に参加し、「地域の学校の一員」としての役割を果たしている。	3.9

改善策 15

生徒が「生きる力」の核となる豊かな人間性や社会性を育むために、地域人材を活用した体験的な教育活動を充実します。また、生徒の地域ボランティアへの参加を促し、ボランティアの精神を育むとともに自尊感情を向上させます。

方策 16：生徒児童間の交流活動の充実を図り、中一ギャップの解消に努めます。

質問 16

生徒	小学生体験入学や、夏休みのリトルティーチャー等、小学校との交流活動がよく行われている。	4.4
保護者	学校は、小学生体験入学や、夏休みのリトルティーチャー等、小学校との交流活動をよく行っている。	3.9
教職員	学校は、生徒・児童間の交流活動の充実を図り、中一ギャップの解消に努めている。	4.1

改善策 16

小学校の児童が中学校での学習や生活、部活動等を理解する場として体験入学（授業・部活動）を実施します。また、海外派遣生徒によるプレゼンテーションや、中学生による補充学習の支援、挨拶運動等を行います。

特別活動

方策 17：心の教育（規範意識の向上）と教育相談活動の充実を図ります。

質問 17

生徒	担任や副担任の先生は、学級で安心して充実した生活できるように努めてくれる。	4.1
保護者	お子様は、学級で安心して充実した生活を送っている。	3.9
教職員	あなたの学年の生徒たちは、学級で安心して充実した生活を送っている。	3.2

改善策 17

人に対する思いやりや礼儀、他者との違いを受容し、認め合う力を身に付けさせます。

特別支援教育コーディネーターが中心となり、担任とスクールカウンセラーや心のふれあい相談員等との日々の報告・連絡・相談を確実にし、組織全体で教育相談の充実を図ります。

方策 18：人に対する思いやりや礼儀、他者との違いを受容し、認め合う力を身に付けさせます。

質問 18

生徒	担任や副担任の先生は、友達や先生等、人間関係について振り返ったり見直したりする時間を作ってくれる。	3.7
保護者	お子様は、友達や家族等、人間関係について振り返ったり見直したりすることができる。	4.1
教職員	あなたの学年では、生徒たちに、友達や家族等、人間関係について振り返ったり見直したりする活動をさせている。	3.6

改善策 18

ピア・サポートプログラムを活用し、リレーションづくりや話し合いのルールづくりを行い、高め合う環境や関係を育みます。

ピア・サポートプログラム

は、コミュニケーション訓練や問題解決スキル、対立解消スキル等を身に付けさせるためのプログラムです。

方策 19：生徒会・委員会活動の充実を図ります。

質問 19

生徒	生徒会役員や各種委員は、学校を良くするための活動に、しっかりと取り組んでいる。	4.2
保護者	お子様は、生徒会役員や各種委員会、各係活動にしっかりと取り組んでいる。	3.9
教職員	あなたは、生徒たちに、生徒会役員や各種委員会等にとしっかりと取り組ませている。	4.3

改善策 19

学区内小学校との交流活動や生徒会活動等の多様な体験活動を通して、豊かな人間性や自ら学び自ら考える力を養います。

従来の生徒会の活動を生かしながらも、常に生徒の創意工夫を尊重する観点から、具体的な内容、方法、時間などの枠組みはあらかじめ決めておき、生徒の発意・発想を生かす活動を展開します。

方策 20：学校行事の充実を図ります。

質問 20

生徒	あなたは、学校行事に真剣に取り組み、達成感を得ることができた。	4.1
保護者	お子様は、学校行事に真剣に取り組み、達成感を得ることができた。	3.7
教職員	学校行事では、生徒たちに真剣に取り組み、達成感を味わわせることができた。	3.7

改善策 20

運動会や合唱コンクール等の学校行事を通して、望ましい人間関係を形成したり、集団への所属感や連帯感を深めたりして、よりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てます。



体力と健康

方策 21：保健便りを発行し、健康に関する情報を生徒や保護者に発信します。

質問 21

生徒	先生たちは、健康に過ごすことの大切さや、体力を向上させる方法について教えてくれる。	3.9
保護者	お子様は、健康に過ごすことの大切さや、体力を向上させる方法を身に付けている。	3.9
教職員	学校は生徒たちに、健康に過ごすことの大切さや、体力を向上させる方法について教えている。	3.8

改善策 21

生徒たちの健康の保持増進のため、健康な体づくりを意識させ、生活習慣病の予防にも努めさせます。

体力テストの結果等を活用し、子供たち一人一人の体力・運動能力に応じて体力向上を図る取組を推進します。

課題と改善策

本校は、「主体的な学び」や「自己表現力」、「コミュニケーション能力」、「確かな学力の定着」、「規範意識や基本的な生活習慣」、「望ましい職業観」、「人生観や生き方」、「心の教育」等に課題があります。これらすべての課題を解決し、生徒や保護者・地域の方々から認められる学校にするためには、現在試行しながら準備を進めている学力向上プロジェクトの全教育活動での取組が必要と考えます。

チーム学習による

「学びの主体者」の育成

学校の全教育活動で、課題解決を軸とした指導の改善を通して、チーム学習による「学びの主体者」を育成します。

生徒たちに次の解決策に取り組み、自己の向上を図るための「学び方」を身に付けさせます。

- ① 自分の意見は、対話を通して深めさせる。
- ② 目標達成・課題解決は、PDCAサイクルを確立させながら仲間と協働して進めさせる。
- ③ 興味・関心を探させ、「探求」をスモールステップで学ばせながら考えを深めさせる。

チーム学習による課題解決的な学習を軸とした授業や「学び」を探求する学習を、すべての教師が共通認識をもって意図的・計画的に行います。

それらによって、生徒に「学ぶ意味」に気付かせたり、社会的スキルを身に付けさせたりして、「学びの主体者」として成長させていきます。